

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 8 年 2 月 17 日



豊中ロータリークラブ

第 3067 例会

第 2661 号

よいことのために
手を取り合おう

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2025~26 年度

国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツォ
(イタリア、ラゲーザ RC)

Rotary

Toyonaka



2025.7~2026.6

会 長 松本 悟
副 会 長 矢口正登
幹 事 藤田充男
雑誌・広報・会報委員長
都井正剛

本日 (2 月 17 日) のプログラム

「豊中市政の到達点と展望」

豊中市長：長内繁樹様



次回 (3 月 3 日) のプログラム

「逆境にある子どもたちに、感動体験を
届けて自己肯定感を育む」

豊中市 子ども支援ボランティア団体
Quest 代表 加藤夏海様

会長の時間

「高齢者の医療について」

2025-26 年度 会長 松本 悟

病院には、手術や処置を多く行う急性期病院と、リハビリテーションや長期的に治療を行う回復期・慢性期病院に分かれます。ご高齢の患者さんでは、肺炎や手術で急性期病院に入院しても、治療はひと段落済んだものの、体力が低下してしまい、自宅等の元の生活に戻れない方が多く、回復期・慢性期の病院に転院されることがあります。

私は今、回復期・慢性期の病院で勤務をしています。毎日、そのような患者さんの相談が、急性期病院から舞い込んできます。紹介を受けて入院して頂くと、点滴、酸素吸入などの治療を継続しながら、毎日リハビリを行います。体力を維持・向上させて上げて、できるだけ元の生活に戻って頂くように努力をしています。ですので、医師、看護師よりもリハビリを行う理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が多く勤務しています。

一方で、体力が回復せず、自宅へ退院ができない方もおられます。そうした方々は特養、老健、サービス付き高齢者住宅等の施設へ入所されてゆきますが、施設のケア内容、場所、費用等の条件に合わないことが多いこともあります。国の方針では、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリといった自宅での生活へ戻ってもらうことを進めています。実際、在宅診療を受けている方々は増えてきている現状で、豊中市でも同様です。

現在豊中市には、75歳以上の方は6万5千人、85歳以上の方は2万人の方がおられて、今後も増加傾向で、10年後には85歳以上の方は約3万人まで増加するとの予想です。この地域では急性期病院は多くあり、回復期・慢性期の病院にも恵まれた地域であろうと思っておりますが、現場で働いている者からすると不安は尽きない思いです。

本日、お越しの方々の中でも、ご高齢のご家族がおられる方もおられると思いますので、何かことがあれば相談下されば幸いです。これは私の仕事でもあり同時に、そのような相談にのらせて頂くことは、ロータリアンとしての職業奉仕にもなるかな、と思っている次第です。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：9 時~15 時(土日祝を除く)

H P ア ド レ ス： <https://toyonaka-rc.jp>

メー ル ア ド レ ス： jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3066回	第3063回
例会日	2月3日	1月10日
① 会員数 A	27	27
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	21	21
③ 出席義務者出席数	11	13
④ 出席免除者出席数	2	4
⑤ メイクアップ数		4
⑥ 出席義務者欠席数	10	8
出席率 %	56.52%	84.00%

出席率(3066回) ③+④/②+④ 出席率(3063回) ③+④+⑤/②+④

2月3日のニコニコ箱報告

- ・卓話にお招きいただいて
国際ロータリー第2660地区 大阪北 RC
2016-17年度ガバナー 松本 進也 様
- ・松本パストガバナーにお越しいただいて
岩本、武枝、松本各会員
- ・誕生日祝いを頂いて 松山会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて
矢口、松尾各会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 武枝会員
- ・明けましておめでとうございます。
松尾会員
田畑会員
有志一同
- ・欠席のお詫び
- ・二次会残金

☺ 畑田会員の近況 ☺



2026年2月10日(火)に、畑田会員のお見舞いに伺いました。

畑田会員は現在真下会員が施設長の介護老人保健施設“かがやき”に入所されています。

顔色も良く、以前よりふっくらとされて元気なご様子でした。食欲もあり、リハビリも一生懸命頑張ってもらっているようです。

“かがやき”のスタッフの方々には良くしていただいているとおっしゃっていました。何より楽しそうで良かったです。ご報告まで

豊中 RC 米田 眞

☞ 幹事報告1 ☞

- ・国際ロータリー第2660地区より
「第24回台湾 RI 囲碁大会の案内状」が届きました。
「クラブ活性化セミナー2026の案内」が届きました。
「米山感謝祭のご案内」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・2025年度米山奨学生終了式・歓送会
日 時：2026年2月21日(土) 17:00~20:00
場 所：シェラトン都ホテル大阪
- ・R財団創立記念日
R財団の創立記念日は2月23日です。
- ・第9回定例理事会・第4回被選理事会
日 時：2026年3月3日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー例会場
- ・PELS 次年度のための会長エレクトセミナー
日 時：2026年3月7日(土)
場 所：シティープラザ大阪
- ・IM 第1組ロータリーデー
日 時：2026年3月21日(土) 13:00~16:30
場 所：オービックホール
大阪府中央区平之町4-2-3
オービック御堂筋ビル2F
最寄り駅：御堂筋線 淀屋橋 徒歩3分
- ・社会奉仕フォーラム
日 時：2026年3月24日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場

○お知らせ○

次回の例会は3月3日です。
理事会・被選理事会共にございますので関係各位のご出席をお願い致します。

☞2月3日の卓話☞

国際ロータリー第 2660 地区
2016-17 年度ガバナー



松本 進也 様 (大阪北 RC)

大阪北ロータリークラブ 2016-17 年度パストガバナーの松本進也です。

私は 2025 年 4 月 13 日から 17 日まで、米国イリノイ州シカゴで開催された「2025 年規定審議会 (COL)」に、第 2660 地区の代表議員として出席いたしましたので、ご報告申し上げます。

審議会は、ロータリーの組織運営に各クラブの意見を反映させる重要な場であり、「決議審議会 (COR)」と「規定審議会 (COL)」の二つがあります。

決議審議会で審議される決議案はロータリー活動全般について、クラブや地区から出された提案で「ご意見箱」のようなもので毎年募集があり、代表議員がオンライン投票を行います。

一方、規定審議会で審議される制定案は国際ロータリー定款・細則・標準ロータリークラブ定款といった規則・ルールを規定した条文の修正・追加・削除などの提案を行うものです。

こちらは 3 年に 1 回 代表議員がシカゴに集まって行います。

2025 年規定審議会は、全世界から選出された 515 名の代表議員のうち 496 名が出席しました。

世界から 86 件の制定案が提出されましたが、開催前に 5 件、開催中に 6 件が撤回され、さらに事前審査で 1 件が採択された結果、審議会では 74 件が審議されました。そのうち、同意議題を含め 31 件が最終的に採択されました。

日本からは過去最多となる 26 件の制定案が提出されましたが、採択されたのは 2 件にとどまり、採択率は 8.3%と近年で最も低い結果となりました。なお、第 2660 地区から提出した 2 件の制定案も、残念ながら採択には至りませんでした。

一方、RI 理事会から提出された 16 件の制定案はすべて採択され、採択率は 100%でした。その中には人頭分担金の増額に関する重要な提案も含まれています。

RI 理事会提案を除く各国からの制定案 59 件のうち、採択されたのは 15 件であり、RI 理事会提案と合わせて、今回の採択数は合計 31 件となります。

奉仕部門、ロータリーの目的、クラブ例会と出席に関しては日本からの提案のみで、このような提案は、標準ロータリークラブ定款の例外規定の範疇で、クラブ細則で対応できるとの判断から、このようなマイクromanagementの提案を審議会に持ち込むべきではないとの猛烈な批判が相次ぎました。そのため、余り議論もないまま、無期延期ないしは否決となりました。

さらに、日本から提案された国際ロータリー管理運営の事務総長関連の案件についても、そもそもロータリーに対する考え方に、日本と他国では大きな隔たりがありました。RI 理事会や他国の代表議員の発言は「ロータリーはビジネスである。RI は優秀なマネジメント専門家を雇用し、適切な組織運営を行っている」、「理事会は事務総長はじめ本部の管理者を監督しており、我々が選んだ理事を信頼し、国際ロータリーの運営は全面的に彼等に任せるべき」との趣旨の意見が多く出され、これらの案件も大差で否決さ

れる結果となりました。

RI 理事会からの「人頭分担金を増額する件」ですが、半年ごとに約米貨 4 ドルずつ、毎年値上げをするという内容です。

審議時間は 45 分と COL 期間中で最も長い審議となりましたが、結果は、賛成 351 反対 135 で採択となりました。

採択された 31 件の制定案はマイロータリーでご覧いただけます。

2025 年規定審議会の結果を踏まえ、2028 年規定審議会に向けた戦略としまして、

1. 代表議員就任早々からの自主的勉強会・意見交換会の開催
2. 標準 RC 定款の例外規定に関する提案はかなり難しい
(例会・出席・会員身分などはマイクロマネジメント)
3. RI 定款と RI 細則をターゲットにした制定案の作成
4. RI の管理運営への提案
(理事会・RI 本部の管理体制、中央集権管理体制の変更など)
5. ロータリーの基本理念の議論をどう俎上に載せるか
(目的などはあまり議論にならない傾向)
6. 日本の代表議員の協調体制が不可欠

が挙げられます。

今後の日本からの提案は、標準ロータリークラブ定款ではなく、RI 定款や RI 細則に絞り、RI の運営管理にいかに関与性と責任説明を明確に持たせるかという制定案を考慮すべきであろうと強く感じた次第でございます。

続いて、「2025 年決議審議会」の結果ですが、今回、第 2660 地区からの提案はございませんでした。

32 件の決議案のうち 9 件が採択されました。

日本からは 5 件の提案があり、そのうち 1 件が採択されております。

こちらマイロータリーでご覧いただけます。

最後に、今回の規定審議会で日本と他国のロータリーに対する基本的な考え方に大きなギャップがある事を改めて実感すると共に、このようなギャップを認識しつつ、日本のロータリアンとして理想のロータリーがどうあるべきかの議論を積み重ねながら、日本の立場を世界に訴えていくべきではないだろうかと考えます。

大切なことは、RI へ日本の意見を提案し続けることです。

3 年に 1 度開催される規定審議会および毎年の決議審議会で、積極的に提案し、今後も引き続き継続的に RI へ日本の意見を発信し続けてまいりましょう。

以上をもちまして、2025 年規定審議会ならびに 2025 年決議審議会のご報告とさせていただきます。

国際ロータリー第 2660 地区
2025 年規定審議会代表議員
松本 進也

国際ロータリー第 2660 地区 2025 年度規定審議会代表議員

2016-17 年度 ガバナー 松本 進也 様

本日は、「規定審議会」についての卓話を賜り有難うございました。勉強になりました。心よりお礼申し上げます。

豊中 RC 会長 松本 悟